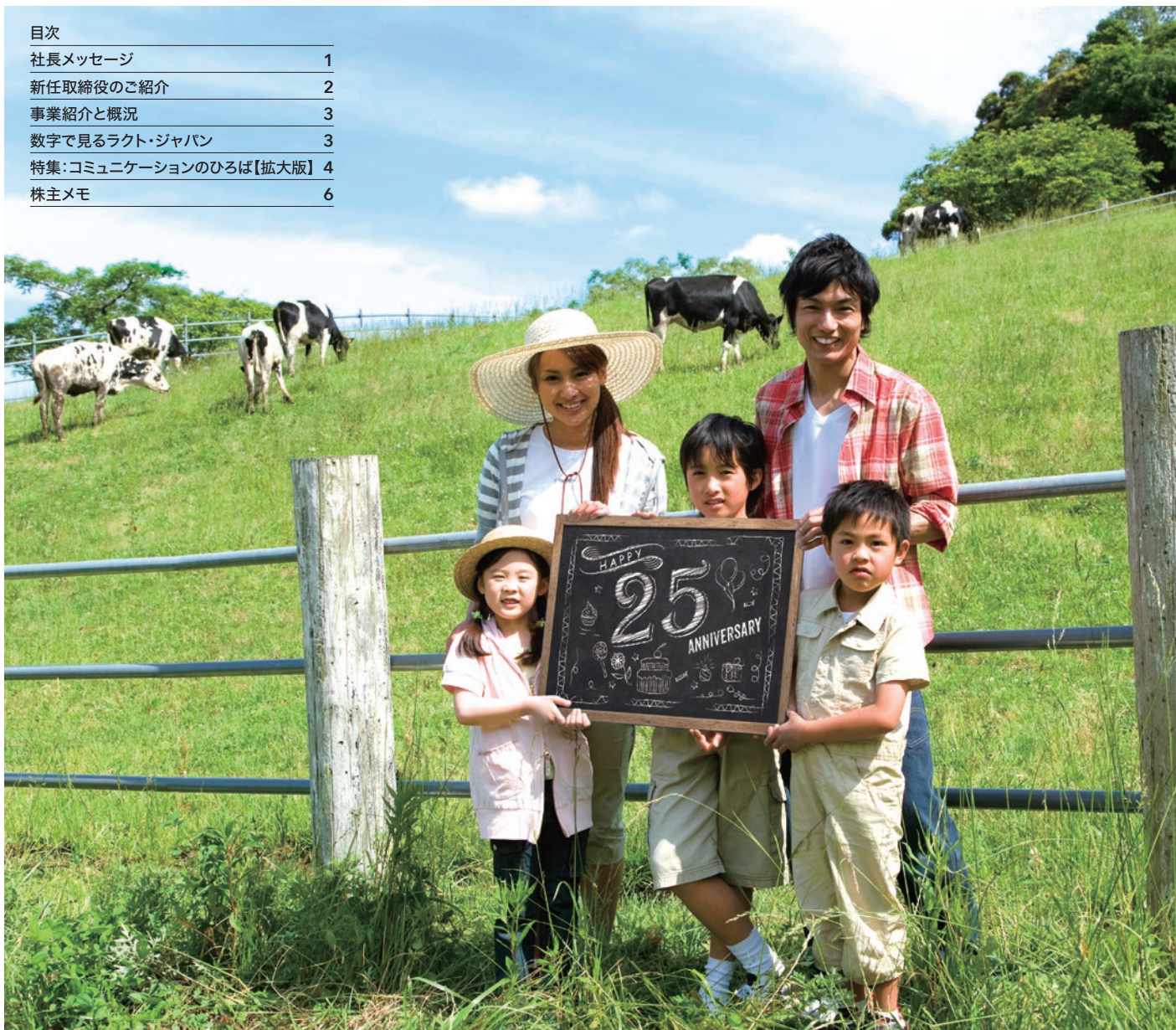


目次

社長メッセージ	1
新任取締役のご紹介	2
事業紹介と概況	3
数字で見るラクト・ジャパン	3
特集:コミュニケーションのひろば【拡大版】	4
株主メモ	6



A Message from the President

社長メッセージ

株主の皆さまにおかれましては、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症法上の分類移行を契機に、経済・社会活動の再開に拍車がかかったいま、ラクト・ジャパンが皆さまの最も大切な「食」と「健康」を担う企業であるとの自覚を新たにしているところです。

また、困難な時期にあっても取り組みを進めてきた新たな試みが、芽吹きをの時期を迎えています。当社は今年創業25周年を迎えましたが、来る35周年にはさらに社会に必要とされる企業となれるよう、従業員一同、精進を重ねてまいります。皆さまのご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
みうらもとひさ
三浦 元久



ウィズコロナの本格始動で 業務用中心に需要は回復の兆し

2023年11月期第2四半期連結累計期間(以下、当第2四半期)における当社は、国内ではインバウンドを含む外食・レジャー産業向けの需要の回復と、食品全般の値上げによる家庭用需要の低迷という、2つの変化に対応することとなりました。アジアに目を移しますと、東南アジアの業務用需要は堅調でしたが、中国での新型コロナウイルス感染症の再拡大が影響し、食品業界の回復は足踏み状態にあります。これらの事業環境を受けて、当第2四半期は売上高が15.3%増(前年同四半期比)となったものの、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

“複合型食品企業”への施策を推進

事業部門別に当第2四半期を振り返ります。乳原料・チーズ部門は、コロナ禍による国産脱脂粉乳の過剰在庫対策事業により国産品への置き換えが進んだことから、輸入脱脂粉乳と輸入調製品の販売が低迷しました。しかしながら現在は、在庫水準が徐々に低下し、適正化に向かっていきます。過剰在庫の影響を受けないその

他の乳原料やチーズは、人流の回復にともない業務用需要に回復の兆しがみられました。

食肉食材部門では、当社の主力商品である北米産のチルド・フローズンポークの販売が堅調に推移しました。また、鶏肉や加工食品の販売で新規の取引を開始するなど事業展開の幅も広がりました。

アジア事業の乳原料販売部門では、現地の食品メーカー向け販売が順調に推移したものの、日本向け調製品の原料販売が伸び悩みました。チーズ製造販売部門では、中国向け食品を製造するメーカーへのプロセスチーズ販売で苦戦を強いられましたが、シンガポールを中心に外食向けのナチュラルシュレッドチーズの販売が順調でした。

以上に加えまして、機能性食品原料は、プロテイン原料を中心に積極的な提案型営業を展開しました。

事業環境の変化に柔軟に対応しながら、“複合型食品企業”へと歩み始めたラクト・ジャパンにご期待をお寄せいただければ幸いです。

株式会社ラクト・ジャパン
代表取締役社長

三浦元久

Introduction of New Directors

新任取締役のご紹介



ぶんどう けんじ
分銅 健二

取締役 管理部門管掌兼
コーポレートスタッフ部門長

【趣味】ゴルフ・バイク・読書
【座右の銘】平凡の非凡

財務や人事を中心とした管理部門での経験が長く、また、直近ではIR担当として機関投資家の皆さまとの対話を通じて、当社の企業価値向上に努めてまいりました。足元では株価が低迷しておりますが、当社はユニークな事業モデルやポジショニングを持ち、日本や海外市場において必ずや存在感をお示しできると確信しています。株主の皆さまに「ラクト・ジャパンの株主でよかった」と思っていただけのように、企業価値のさらなる向上に努めてまいります。



いけだ やすひろ
池田 泰弘

社外取締役

【趣味】ゴルフ・ジム通い・靴磨き
【座右の銘】言行一致

私の経歴は、冷凍食品企業の業務執行と企業経営です。企業経営においては、経済的価値と社会的価値両面の創出に取り組むと同時に、事業推進の礎となる企業理念の浸透、生き生きとした従業員と明るく元気な企業風土の醸成に取り組みました。独立社外取締役の一員として、独立した立場と経営者の視点から、長く続く企業価値向上を目指して経営をモニタリングすることが私の役割であると認識しています。お役に立てれば幸いです。

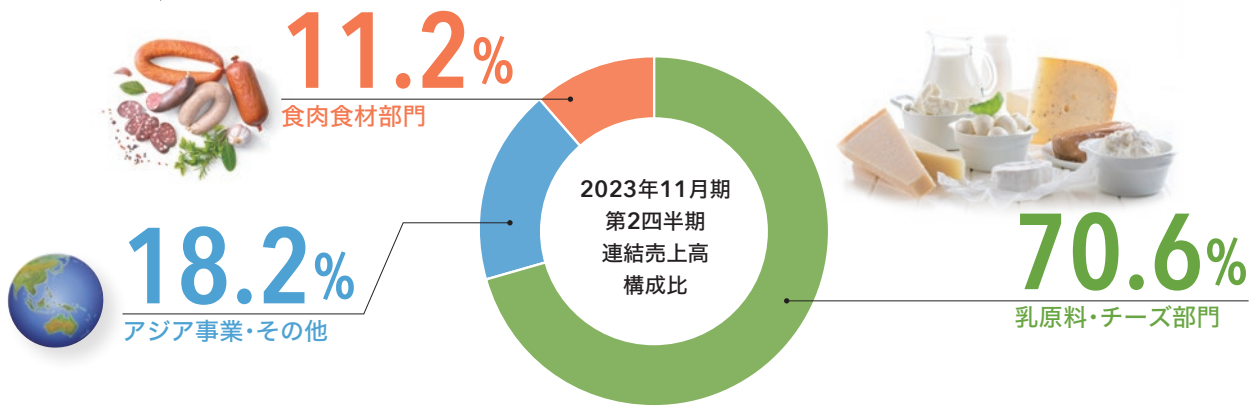


あべ きみとし
阿部 公昭

取締役(監査等委員)

【趣味】ゴルフ・庭いじり・
スポーツ観戦
【座右の銘】和して同ぜず

42年間、営業・管理、海外・国内、複数の業種・業界を経験する中で、その時々で社内外関係者の方々からのご指導とご協力に恵まれながら、仕事を面白く、また、楽しくすることをいつも考え、実践してまいりました。この度の常勤監査等委員拝命は、その集大成ともいえるありがたい機会であり、経験の全てを投げガバナンス推進を軸に会社の成長と社業発展に寄与したいと考えています。



乳原料・チーズ部門 ↗

海外から安全な乳原料やチーズを仕入れ、日本国内の乳業・菓子などの食品、飲料、飼料メーカー等に販売しています。

販売数量	85,335 トン	前年同四半期比	11.5%減
売上高	567 億 91 百万円	前年同四半期比	20.3%増

食肉食材部門 ↗

海外から豚肉および生ハム・サラミなどの加工品を仕入れ、国内の食品メーカー、卸売会社等へ販売しています。

販売数量	13,878 トン	前年同四半期比	14.7%増
売上高	89 億 96 百万円	前年同四半期比	24.6%増

アジア事業・その他 ↘

グローバルで調達した乳製品原料をアジア地域で販売するとともに、自社ブランドのチーズの製造販売も行っています。「その他」には機能性食品原料の販売を含んでいます。

売上高	146 億 61 百万円	前年同四半期比	4.6%減
-----	--------------	---------	-------

乳原料販売部門

販売数量	21,088 トン	前年同四半期比	20.6%減
売上高	105 億 64 百万円	前年同四半期比	14.0%減

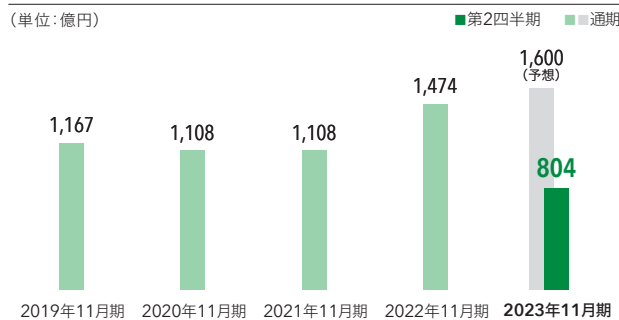
チーズ製造販売部門

販売数量	2,369 トン	前年同四半期比	1.4%増
売上高	22 億 46 百万円	前年同四半期比	22.9%増

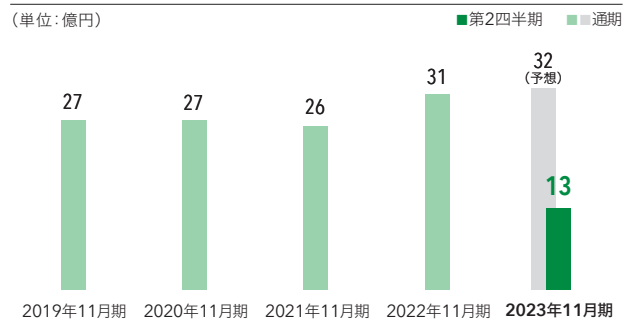
LACTO JAPAN in Numbers

数字で見るラクト・ジャパン

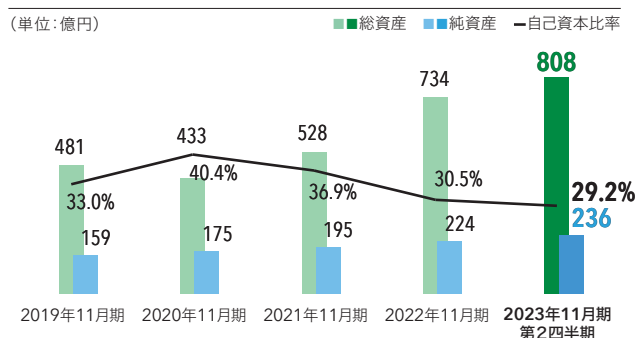
売上高



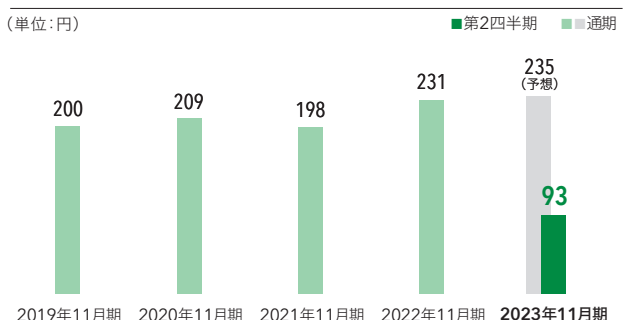
経常利益



総資産・純資産・自己資本比率



1株当たり当期純利益



(注)『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を2019年11月期の期首から適用しております。

(注)当社は、2019年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を遡及修正した数値を記載しております。

株主さまからのご質問・ご要望について、お答えします

毎年、多くの株主の皆さまにアンケートにご協力いただき誠にありがとうございます。
今回は3,000件を超える回答があり、なかには実際のIRツールの制作の参考にさせていただいたご意見もありました。
例えば、ホームページをタブレットで閲覧した際の表示の不具合についてのご指摘をいただき、修正することができました。
このように、いつもご支援くださる株主の皆さまに感謝の気持ちをこめまして、改めてご質問やご要望にしっかりとお答えすべく、今回の特集は「コミュニケーションのひろば 拡大版」とさせていただきます。

Q. コロナ禍以降、日本の酪農がいろいろな問題を抱えているというニュースを目にします。ラクト・ジャパンはそうした問題にどのように貢献していますか？

A. 今回のアンケートでは、日本の酪農に関するご質問が多数あり、株主の皆さまの酪農への関心の高さに驚きました。また同時に、乳製品を扱う会社の経営トップとして責任を感じた次第です。輸入中心の商社である当社が、酪農の問題にどのように貢献できるのかということ、それは「乳製品の需要を創ること」だと思っています。乳製品の需要が盛り上がり、酪農家の皆さまは事業を継続する希望も出てきますし、乳業メーカーは新製品の開発に注力され、結果として輸入乳製品の取引の拡大につながると思います。

当社は、乳業メーカーとの付き合いも長く、日本の乳製品市場に精通しています。また、成長するアジア市場において現地のプロセスチーズの市場を創り出してきた実績があります。こうした実績を強みとし、事業を通じて日本とアジアの乳製品の需要を盛り上げたいと考えています。

Q. 脱脂粉乳の過剰在庫問題について、ラクト・ジャパンの取り組みを教えてください。

A. 日本では2014年に起こった「バター不足問題」への反省と酪農の持続的発展から生乳生産量を増やす努力を行ってきました。その成果が出始めたタイミングで発生したコロナ禍により、乳製品需要が激減、余った生乳の廃棄を避けるために脱脂粉乳の生産が増加し、結果として国産脱脂粉乳の過剰在庫問題が生じました。

この問題に対して当社は、それまでほとんど取り扱いのなかった国産脱脂粉乳を国内のお客さまに積極的に販売したほか、アジアへの輸出販売を行うなど、事業を通じて問題解決に取り組んできました。



その結果、足元では脱脂粉乳の在庫量は徐々に減少し、適正化に向かっています。当社は引き続き酪農・乳業界と足並みをそろえ、過剰在庫対策に取り組んでいきます。

Q. ラクト・ジャパンの製品はどこで購入することができますか？

A. このご質問は毎年とても多く寄せられますが、ラクト・ジャパンの取り扱い乳製品や食肉製品は、主に食品の「原料」であるため、普段皆さまが購入される食品のラベルを見ても、残念ながらラクト・ジャパンの名前を見つけることはできません。しかし、皆さまが普段スーパーやコンビニで購入されたり、外食で召し上がるチーズや乳製品、生ハムやサラミなどの多くの製品にラクト・ジャパンが輸入した商品が使われています。乳原料はヨーグルトやアイスクリーム、チョコレートやスポーツ用のプロテインなど幅広い食品の原料として使われています。実は、皆さまは気づかないうちにラクト・ジャパンが輸入した製品を口にされていると思いますよ！



IR広報部がお答えします



Q. ROEや配当性向など、経営指標はどこを見たらわかりますか？

A. ROEや配当性向などの経営指標は、決算短信、有価証券報告書などの開示資料で公表しております。また、手軽にご確認いただけるようホームページの「株主・投資家情報」にも経営指標や配当性向などのグラフを掲載しております。ぜひ「株主・投資家情報」をチェックしてみてください！



詳しくはこちら
⇒ROE
株主・投資家情報>業績・財務>主要財務指標をご参照ください。
<https://www.lactojapan.com/ja/ir/finance/indicator.html>



⇒配当性向
株主・投資家情報>株式情報>配当金をご参照ください。
<https://www.lactojapan.com/ja/ir/stock/dividend.html>

Q. 株主優待のカタログギフトはいつからもらえますか？

A. 今年度から株主優待の権利確定基準日は11月30日となりましたので、株主優待品をお受け取りいただくためには、11月30日の株主名簿にお名前記載があることが第一の条件です。そして、今年度の長期保有優待(カタログギフト)をお受け取りいただく株主さまは、2023年11月末の株主名簿においてお名前記載が連続7回以上になる株主さま、つまり、2020年11月時点までに当社株式を購入された株主さまとなります。

なお、直近7回の基準日における保有株式数が一度でも100株(単元株数)を下回った場合や、貸株サービスの利用、相続・贈与などで株主番号が変更になった場合は、その直後の基準日から起算しなおしますのでご注意ください。

次のカタログ優待対象者は2020年11月時点までに購入された方が対象なんです！



詳しくはこちら
⇒よくあるご質問の「株式に関するご質問」Q7をご参照ください。
<https://www.lactojapan.com/ja/ir/faq.html>

Q. 個人投資家向けの説明会を対面で開催してほしいです。

A. 当社は個人投資家の皆さまを対象とした会社説明会を毎年実施しており、開催形式は近年のさまざまな環境の変化により、オンライン形式としております。オンライン説明会は場所の制約がないため、多くの投資家の皆さまにご参加いただくことができる望ましい形式だと考えており、今後も当面はこの形式を継続したいと考えております。なお、会社説明会の動画は当社ホームページで公開しております。今年度の説明会の動画は9月上旬に公開予定です。公開時は「株主・投資家情報」のニュースでお知らせいたしますので、ぜひご視聴ください。



個人投資家向け会社説明会の資料と動画はこちら
⇒株主・投資家情報>個人投資家の皆さまへ>個人投資家向け説明資料をご参照ください。
<https://www.lactojapan.com/ja/ir/about/about-2.html>

Q. ホームページを閲覧するのにCookieの同意を求められるのはなぜですか？

A. 当社は、ユーザーのホームページの閲覧状況を確認し、掲載内容の改善・充実を図る目的でCookieを利用しております。Cookieにより個人を特定する情報を取得しているわけではありませんが、上記目的のためにCookieを利用していることは事実ですので、個人情報保護への取り組みの一環として情報利用に対する同意取得バナーを設置しております。

利用者の視点から考えますと煩わしいことは存じますが、ご理解くださいますようお願いいたします。



⇒当社のプライバシーポリシーについて
<https://www.lactojapan.com/ja/privacy.html>

Q. LJ通信はWeb版で発行してはどうでしょうか。

A. LJ通信の発行形態については多くのご意見があり、社内でもかねてよりWeb化について議論してまいりました。今回も多くの株主さまからWeb版でよいというご意見をいただいた一方、紙での発行を続けてほしいというご意見も依然多く、しばらくは紙での発行を継続することといたしました。なお、今後も地球環境への配慮などを踏まえ、適宜発行形態について検討してまいります。



夏に食べたい栄養満点の牛乳豆腐



材料(2人分)

A牛乳 360ml
 | かたくり粉 大さじ4

Bしょうゆ 小さじ1
 | 水 小さじ1
 | 砂糖 小さじ1/2

しょうが 適量
 刻みねぎ 適量

作り方

1. 鍋にAを合わせて溶き、中火にかける。フツフツとしてきたら弱火にし、底をかき混ぜ、粘りが出てひとまとまりになり、弾力が出るまで練る。
2. 1を水にくぐらせたバットに入れる。表面にも水をはり冷蔵庫で冷やし固める。
3. Bを合わせてよく混ぜ、たれを作る。
4. 器に氷を入れ、2を大きめに切って盛り付ける。菜味を添え、たれをかけていただく。

MEMO
 黒みつ&きな粉や
 ジャムをつけると
 デザートに

元気になる牛乳カレーうどん



材料(2人分)

A牛乳 200ml
 | めんつゆ(3倍濃縮)
 | 大さじ1
 | カレールー(市販/中辛)
 | 20g

サラダ油 小さじ1
 豚薄切り肉(バラ)100g
 ねぎ 1本
 水 200ml
 ゆでうどん 2玉

作り方

1. 豚肉は長さを半分に切る。ねぎの白い部分は4cmの長さに、青い部分は小口切りにする。
2. フライパンにサラダ油を熱し、豚肉とねぎの白い部分を焼きつけるように炒める。
3. 2に分量の水を加えてフツフツとしてきたら、アクをとり、ねぎがやわらかくなるまで約5分間煮る。Aを加えてさらに5分間ほど煮る。
4. うどんをさっとゆで、ゆで汁を切って器に盛り、3をかける。ねぎの青い部分を飾る。



ほかにもさまざまなメニューが一般社団法人Jミルクのサイトで紹介されています。
<https://www.j-milk.jp/nyuwashoku/recipe.html>

レシピ:料理家・管理栄養士
 小山浩子さん
 出典:一般社団法人Jミルク

Shareholders Information

株主メモ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで

基準日 11月30日
 そのほか必要がある場合は、あらかじめ公示いたします。

単元株式数 100株

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

■ 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。

■ 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記の特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問合せください。なお、三井住友信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。



〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目11番2号
 太陽生命日本橋ビル22F
 TEL:0570-055-369



より詳細なIR情報は、当社ホームページをご確認ください
【株主・投資家情報】
<https://www.lactojapan.com/ja/ir.html>